

<第3回環境リーダー養成ステップアップセミナー>

**環境リーダーアクティビティ
事前アンケート 集計**

2009年10月16日

ライオンズクラブ国際協会 330-A 地区
ガバナー L 岡野忠生
環境委員会 委員長 L 風間 昭
副委員長 L 小塚貞裕

<具体的なコメント>

Q1 実施した環境アクティビティの概要

●公園の植樹(15年以上前より)

●クリーン多摩川清掃奉仕活動 年2回(9月、6月)。30年以上継続アクティビティ。
参加団体 10以上、参加人数 2000名位／1回。当クラブからは毎回 30名以上が参加。

●堀留公園の清掃(2008.10.3)

●地元中学生と一緒に道路等地域清掃を行っている。(10年以上)
以前(3~4年ほど前)は年に3回位実施していたが、学校側のカリキュラムにより年1回となってしまった。
1~3年生で順番に実施している。

●毎年11月か12月に八王子駅前のメイン通りの清掃活動。
また、周年運動の一つとして東京都と相談し、都から言われたマロニエをメイン通りに植樹。

●繁華街清掃、落書き落とし、緑化生花、絵画展など。

●都立 尾久の原公園のシダレゼクラ(全体で約200本)を 20 本管理。
年間の維持費は、施肥 11.466 円、剪定 241.500 円。
※その他、JR日暮里駅前に太田道灌像を荒川区に寄与し、文化交流に寄与していると確信しています。
清掃については、太田道灌像と駅周辺をライオンズクラブメンバー、荒川区・東京電力・地元町会および少年団の協力により年1回実施しています。

●永年にわたり、江東区緑化協会へ協賛
また、昨年度、45周年を記念して「江東区マイツリー」街路樹を植樹

●毎年4月に、当クラブ結成5周年記念事業のひとつとして桜木 36 本の植樹を行った。
植樹から20年近くたち、桜木は大きく成長し、春は薄紅満開、夏は緑あふれて木漏れ日の中、遊歩道散策の人々の目を和ませてくれます。
また、八王子東浅川堤防の清掃も行っています。(例会振替実施)

●当クラブ継続事業「あじさい植樹」
毎年5月か6月に、あじさい植樹を行っています。クラブ継続事業で第14回となりました。尾根緑道に苗木 50~100 本植樹しています。

●三鷹市大沢地区ホタルの里

毎年幼虫からホタルを育成し、子供達に夢を与えていた。ホタルの育つ清流の管理、田植え、稻刈等の行事に参加している。また、天神山の整備として、雑木林 1600 坪の自然を保護。子供達に里山として自然の森で安全に、しかも、自然に親しむ場を提供することなど、1993 年秋より実施。

●地域清掃を実施。豊島区立千川中学校の生徒・保護者・地域の方々と「山手通り」及び「要通り」を中心に行いました。(6月 11 日(木)午後 2 時 40 分より)

●2007 年、区立中学校の花木贈呈とその花木の植え込み

●三宅島大噴火後の島内の復興整備活動に、三宅島LCのサポート

●メンバー有志による多摩御陵の清掃(武蔵陵)

●河川浄化啓蒙ポスター・コンクールの実施(地元の小学校中心)、ポイ捨て防止キャンペーン用に携帯灰皿を作成し配布、真光寺川の清掃ならびにドジョウほかの放流、大戸源流森の会に活動拠点用トイレ小屋の資金として 100 万円を寄贈。作業は継続事業

- 西東京市環境部保全課主催の「まちの美化と安全を推進する事業市民会議」の会員として、事業推進の要となっている。

- ・市内各駅周辺の路上の「ガム取り」活動(2008年10月5日～)
- ・戸谷せせらぎ公園に「あじさい植栽」(2009年9月15日～10月8日)
- ・路上等にタバコ・ゴミの「ポイ捨て禁止」の呼びかけキャンペーン(ティッシュ配布等)

- 10月実施 地域清掃活動

- 世田谷環境ネットフェスタ2009に参加し、カブト虫の幼虫500匹、リサイクル堆肥(幼虫用マット)500袋の無料配布および協賛金のアクティビティ。行政が継続できなくなった行事を、区民の有志と当クラブが主体となって継続。今年で6回目。

- ゾーン合同にてゴミ拾い活動実施。金町駅前に植樹。

- 毎年、大田区城南少年軟式野球連盟の子供たち、父兄と共に、多摩川河川敷(グランド)の清掃実施。

- 2006年2月に八丈島LCに記念樹として桜を植えた。

- 飯田橋にて清掃活動。地域ボーアスカウトと連合で白山通りの清掃活動。

- 中央区銀座数寄屋橋公園(数寄屋橋LC寄贈 若い時計台)付近の清掃活動
実施／10月3日(土)奉仕の日 労力／13名

- 小学校周辺の定期的な清掃(先生、生徒、父兄と一緒に)。また、別の団体と合同で駅前周辺の清掃。

Q2 実施した結果、どのような成果が得られたか

- クリーン多摩川清掃奉仕活動／毎回、全体で不燃物、危険物、燃えるゴミなど、4tくらい。近年は大型のゴミは少なくなりました。但し、時によっては産廃ゴミも見られる。

- 堀留公園の清掃／大成功でした。

- 地域清掃／特に目立つタバコの箱、吸い殻や、風に飛ばされたビニール袋等を拾うが、子供たちは学校で気にした事がなかったように思われるが、一緒にやる事により、環境を良くする意義は、クラブメンバーが話をしたりすると納得してくれる生徒もいた。

- 植樹／通称マロニエ通りと呼ぶように記念碑も作ったが、実際、花が咲いてみると白い花ではなく赤い花だったので、市民からマロニエではないと言われてがっかりしています。しかし、毎年春に咲く赤い花は市民の心を明るくしていると思います。

- 繁華街清掃／いつも単発で終わり、継続性がない。

- シダレザクラの原公園として区民の方々の憩いの場となり喜ばれています。

西日暮里再開発に伴い周辺はきれいに整備され「太田道灌像」は、みなさまの憩いの場所として尚一層注目され、美化清掃に励んでおります。

- 江東区緑化協会を通じて公園など多方面へ緑を寄与している。また45周年では何もなかった道へ会員数28本を植樹したことで環境整備に協力ができました。

- 当クラブお揃いのブルゾン着用で作業するため、道行く多くの人々にLCというボランティア団体への理解が深まり、言葉を交わしながらの清掃は、きれいになる川と堤防のみならず、我々の気持ちも清々しいものとなります。

- ライオンズクラブが無償で環境保全の奉仕活動を行っている事に対して、各所管官庁、地元住民も参加してくれ、環境保護の意識の輪が少しずつ広がりを見せている。当クラブは、環境保全事業がメインアクティビティになっている。
- 地域の子供達や保護者から感謝され、整備作業に協力してくれ、市も協力的である。
- 地域清掃を通じて地域を知り、地域社会の一員としての自覚を深めた。また、勤労の喜びや大切さを学び、生徒と保護者・地域の方々との共同の活動を通じ、生徒・家庭・学校・地域の連携を深めた。
- アクティビティを通じて、区立中学の校長先生、教頭先生との交流が生まれ、その後のアクティビティのヒントをいただいている。
- 自然が相手なので、成果を期待してという訳にはいかない。
- 清掃後の気分壮快、達成感。
- 継続することで毎年河川が綺麗になり、小魚も増え、場所によってはホタルが見られる様になった。周囲の方々からも散策が楽しくなったという声も寄せられています。
クラブ内では金銭だけでなく、共に汗を流す活動をする事で一体感が得られ、メンバー相互の意識疎通がスムーズになり、参加する事が楽しくなり、なお退会防止にも役立っています。
- ガムやタバコのポイ捨ては、モラルの問題で時間がかかる。やはり学校教育として徹底することが大事と考える。植栽等は自治体で行えばよいのですが、予算面やサービス奉仕誠心が低いと思う。
- 公徳心の欠如や環境問題を改めて体感し、取り組みが以前に増して真剣になった。
- リサイクル堆肥によるカブト虫の幼虫の飼育を通じて、リサイクルの大切さ、必要性を実感してもらえた。
- 子どもたちが日頃使用している場所を清掃することにより感謝の気持ち、大切にする気持ちが育まれている。
- クラブメンバーの連帯感、汗を流した爽快感は得られましたが、数か月後その場所を散歩したらごみがたくさん落ちていて、悲しくなりました。
- 久しぶりに労力奉仕を行い、良い汗を流したあと皆で昼食をとり、労力による奉仕活動の達成感と充実感を語り合いました。
- 特に、子供達と一緒に清掃を行った時は、立場や世代を越えて一つのことに取り組んだ達成感がありました。また、公園なのに大量のゴミで暗く、人が近寄れないようなところをキレイにした時は、この状態を維持すべきと思いました。

Q3 今後、取り組み予定の環境アクティビティの計画概要

- 「グリーンプロジェクト」の一つとして、「みんなの畠」農園を確保し、地域のコミュニティーを育みながら地球環境を考える契機を提供する。
 - ・生ゴミや落ち葉、雑草などを持ち寄り堆肥化
 - ・作物を育てる事を通じて、環境や食を学ぶ
 - ・有機無農薬農業を心がけ、安全な食料の自給率アップに努める
- 地元小学生を共に環境問題を考える機会を作っていく予定
押しつけでなく、子供達のメンバーの自らの考えで動く
台東区内に必要な環境問題を、行政と学校とLCで考えていくことになる。

- 前期、多摩川の支流、根川の緑道に彼岸花を植栽後、メンテナンスを行う予定です。
(多摩クリーンのあと)
- 今年も10月3日に堀留公園の清掃を計画しています。
- 当クラブは東海自然歩道の沿道ライオンズクラブと共に自然歩道の環境を考える会を発足しています。今後はこの会がもっとなにか出来るように考えて行きたいと思います。
- 継続アクティビティの江東区緑化協会は、今後のできる限り協力をしたいと考えています。また、地域に関わることができることのできる活動であれば積極的に取り組める様にしていきたい。
- 来年4月に、八王子東浅川堤防の清掃事業に取り組みます。
- 10月3日ライオンズデーに、7R326クラブ合同で環境問題取り組み、環境省チームマイナス6%の施策「1日1人1cal CO₂削減」キャンペーンに応じ、160メンバーの家庭においてCO₂を削減し、そのトータルの数字を出してみます。日々の積重ねが大切なことと、全メンバーが1日1Calを減らすと、出来るであろう数字が楽しみです。
- 里山整備。10月3日奉仕デーに実施予定。会員所有に竹林の整備。(毎年4/29 武相マラソン大会場にて、竹の子販売。その竹林の整備をします。)
- 神田川激甚災害緊急特別事業区間である、青梅街道淀橋から中野新橋の間の環境保全奉仕活動の継続と共に、順次工事が進められていく上流区間の地元のクラブと連携して、各河川から東京湾までライオンズの環境保全の輪を繋げて行きたい。
- 11月8日(日)、例会振替で天神山公園の整備をAM10:00より実施。
- 豊島区千川中学校、年3回清掃活動参加。
- 民主党政権は1990年基準CO₂排出25%削減をうたいました。全世界へアピールすることでしょう。只、私としては、メンバーへの啓蒙活動としてセミナーに参加する事から始めたい。
- 毎年行っている御陵清掃は、今年3月頃に行う予定。
- 10月には、らく書きキャンペーンを実施(前年も実施)。金井公園のらく書きを白ペンキで消す作業。後日、地元の小学生の絵をペンキで描き壁画を完成させます。
- 市内各駅周辺の「ガム取り」「ポイ捨て禁止」キャンペーン。
また、市や社会福祉協議会に協賛し「ふれあいまちづくり」の為、公園の整備、清掃、子供や高齢者の安全活動援助の協力。
- 10月3日のライオンズ奉仕デーに合わせ、晴海地区の歩道、緑地帯の清掃活動。
- クラブメンバーも高齢化ため、労働奉仕は減少していくと思われます。現在の予定はありません。
- 大田区の呑川で外来種の魚がいる為に生態系が崩れると危惧し、対策もとられた話を聞きました。
その後、何か役に立つことができないかと行政に関わる方に相談しています。
化学物質が環境や人に与える影響を伝えているセミナーがあり、区内で呼びかけて勉強会をしたいと考えています。上記を含め、環境に対して力を入れられるよう、区単位で委員会を設けて活動していくよう提案するつもりです。

Q4 環境アクティビティに取り組めない理由

- 環境委員会はありますが、活動していないのが現状です。今後は、環境アクティビティに目を向けて行きたいと考えています。
- 今まででは、継続アクティビティで手一杯の状況でした。他クラブの事情も判らず、自クラブの事業は素晴らしいと自己満足するメンバーの多く、これから事業のあり方を研究する環境になかった。会員減少と会員の老齢化により、活発な事業展開が益々減少し、トーンダウンしている状況でした。
- 当クラブは人員が10名と少数のため出来ない。
年1回の中国残留者の日本語発表会(参加200名)を25年続けています。
人員増加できれば、是非参加したい思い努力します。
- 決して取り組まないという否定的なことではありません。人々が様々な環境問題に興味を持ちつつある現在、当クラブも、今後担当委員会を設置して、環境問題の分野を絞り、前向きに環境アクティビティについて検討していきたいと思います。
- 現状の運営が従来のアクティビティ(献血、青少年育成)を継続するのに追われ、新規事業を提案しても余裕がない。
- 他のアクティビティを年間6回以上行っているので、今のところ手一杯です。
- 現在取り組んでいるアクティビティで手いっぱいです。
- 当クラブは「献血・骨髄ドナー登録推進活動」を毎月1回、年間12回実施を重点的に行っている。メンバーが高齢化で時間的に余裕が無い。
- すでに当クラブ年間事業消化で手一杯であること、並びに、メンバー不足で検討の余裕がない。
- 以前、地の水の浄化について行動を起こした事がましたが、なかなか思うように進まず断念した事がありました。当クラブは地域に密着していないためか、お役所に認められず中止したことがありました。
- 人材不足のため
- メンバーが激減して、現時点で新たな取り組みをする余裕がありません。
- クラブとしては、現在実行しているアクティビティで十分であるとの認識を持っている。環境問題には個々のメンバーは関心を示しているので、今後具体的な行動計画が示されるようになれば、環境アクティビティを推進することも可能と思う。
- 地域に根差したアクティビティがあるため。「社会奉仕と友愛」をスローガンに参加と協力。
その他、乳癌撲滅運動への参加と協力などもあり、余裕がまだありません。
- 考えたこともありませんでした。今後自クラブで検討したいと思います。
- メンバー少數化の為、今期は残念ながら取り組めないでおりますが、これから益々重要な課題になると思います。
- 適切なアクティビティの選択ができていない。会員数、会員高齢化で実活動計画がたてにくい。
- 現在、会員数22名(内家族会員5名)ですが、実務的には10名位です。献血奉仕の他に特に力を入れているのは「補助犬との交流学習」と「車椅子バスケットボール体験学習」の為、環境アクティビティは単独で計画することは出来ません。

その他、ご意見・ご感想など

- こじつけになるかもしれません、エコキヤップの回収によるワクチン事業は、今期よりスタートしました。(台東区立柏葉中学校との共同事業)
7～8月で約3万個(75kg)ワクチン38人分を送りました。
- 今期は45周年記念事業を、青少年育を主にアクティビティを行う予定なので、他に計画はありません。
- 上野という地域性に桜があり、「上野桜守の会」などと連携し、緑化への活動などを模索したいと思っています。今後も環境セミナーを継続して下さい。出来るだけ参加します。
- 環境アクティビティは、クラブ単位よりゾーン、リージョン又は330A地区単位で呼びかけをして欲しい。植樹等は、金銭的な協力は出来ると思う。
- 提案されるアクティビティに悪いのは一つもありません。クラブの規模によって取り上げられるかどうかも違ってきます。当クラブも献血、少年柔剣道大会を二本柱にしており、計画への挑戦も必要という気持ちがありますが、なかなか実現への道は厳しいです。
- 環境リーダー養成ステップアップセミナーに、当クラブより毎回参加しています。
本年度より「中期ビジョンを考える」特別委員会が新設されたため「環境アクティビティへの取り組み」を協議しようと思います。
- 常日頃、オフィス又は家庭で心掛けて居ります。
- 基本的に当クラブでは、お金をかけずに労働奉仕を中心に活動していくこうとしています。その労力を活かせるアクティビティの提案があれば、助言していただければ有難いです。
それから、清掃アクティビティを行う場合、用意した袋や軍手等がゴミにならないよう、ライオンズ全体で呼びかけて欲しいと思います。